

2年職場体験学習

魅力伝えるすべ 取材に挑戦

久御山中の池田くん

職場体験で人生膨らます

◆先週、各地の中学校で職場体験が実施された。生徒たちは、働く大変さや世の中のルールなど社会人の世界を垣間見て、将来の人生プランを膨らませた。

◆久御山町立久御山中学校(南亮司校長)2年の池田慧くん(13)は、町役場総務課に3日間勤務し広報の仕事を経験。取材や記事の執筆に取り組み、文章や写真で魅力を伝えるすべに挑戦した。

◆池田くんは同町佐山出身の指揮者、阪部慎太郎さん(35)の実家を訪れてインタビューを行った。阪部さんはドイツ・ベルリンに住んでいるが、一時帰国へ行ったの。あらかじめ用意していた質問を、阪部さんに投げかける。「ドイツ瞬間もあった。インタビューを終え阪部さんと別れても、文化や音楽、働き方の違いなど、どんな仕事をするのか分かった。将来は公務員を目指したい」と語った。

◆3日間一緒に過ごした町役場の繁光拓樹さん(23)は「短い期間だったが、成長していく姿がとてもよく分かった。人生の選択をする場面で、今回の体験が少しでもためになれば」とねぎらった。

◆期間中、池田くんは同級生たちが職場体験する町内外の4事業所を訪問し、取材を行った。撮影した写真や書いた記事は、町の広報誌に掲載予定だという。

「人の役に立ち、人から喜ばれる存在に」



真剣な面持ちで阪部さん取材する池田くん

◆池田くんは吹奏楽部に所属している。音楽に親しむ者同士で通じるものがあったのか、阪部さんの話に聞き入り、思わず「すごい」とこぼす。池田くんは吹奏楽部員。取材時に「最初は緊張した」が、音楽の先輩である阪部さんの話に熱心に耳を傾け、質問をしたり、メモをとったりした。

仕事の喜び、労苦を実感

久御山 2年生が職場体験

久御山中学校(南亮司校長)の2年生が6月8日の3日間、職場体験学習に参加した。

仕事の实体经济を通し、働くことの楽しさと労苦、社会を支える喜び

の一端を学んだ。

今年度は144人が町内を中心に、製造業や福祉、保育、販売、農業など幅広い職種の計45事業所で実習に臨んだ。

このうち、町役場での実習生の1人、池田慧くん(13)は最終日の8日、総務課秘書広報係の繁光拓樹さんの引率でドイツ在任の指揮者、阪部慎太郎さんの

取材を体験した。池田くんは吹奏楽部員。取材時に「最初は緊張した」が、音楽の先輩である阪部さんの話に熱心に耳を傾け、質問をしたり、メモをとったりした。

取材を体験した。

池田くんは吹奏楽部員。取材時に「最初は緊張した」が、音楽の先輩である阪部さんの話に熱心に耳を傾け、質問をしたり、メモをとったりした。

取材を通して、重要点を選別して会話を成り立たせていく大切さを実感し、「メモを取って記事にまとめるのは大変。国語などで学んだことを生かしたい」と話した。職場体験を振り返り「公務員がこんな仕事をするようになったら、将来、公務員になりたい」と、思いを膨らませた。